

ボランティアは『GIVE&TAKE』

～春すみれ～

『あなたもわたしも楽しめる活動を！』をモットーに、高齢者施設でオカリナとギターで演奏する「春すみれ」。ボランティアを始めた頃は演奏がメインだったけれど、2～3年前から演奏だけでなく、曲と曲の間に脳トレゲームを取り入れ、みんなが参加し楽しめるプログラムづくりをされています。



おそろいの「すみれ色」の衣装をまとった
矢田さん（左）と吉田さん（右）

今日は、市内のデイサービスで活動されているところにおじゃまして、メンバーの矢田さん（オカリナ）と吉田さん（ギター）にお話をお伺いしました。

ボランティアを始めたきっかけは？

矢田さん：認知症予防のためにオカリナを始め、土の音色に魅かれ色々な地域の人と交流し、同レベルの気の合った者同士でグループを結成。訪問演奏の一步となりました。

吉田さん：私は、ギター教室の帰りに歩いているところ、矢田さんから「一緒にやりませんか？」と声をかけられました（笑）

ボランティアをしていて嬉しかったことは？

矢田さん：利用者さんから「また来てくださいネ。」というお言葉があったり、職員さん達が「オカリナやりたい。」と言って始められたことがあり、利用者さん自らオカリナを購入されたことがありました。

吉田さん：私たちの音楽に合わせて歌われる姿をみて、会場のみなさんと一緒にやっているという雰囲気が嬉しいです。

これからボランティアを始めたいと思っている方へ一言！

矢田さん：自分の趣味や得意なことを活かして、頑張ってください♪

吉田さん：好きなことから始めてみてください。みんなの喜ばれている顔を見ると、自分も幸せになります！



記憶力ゲーム!! 「出てきた絵をよ～く見ておいてくださいね。」



「ふるさと」を歌いながら、みなさんと一緒に手話も♪

「春すみれ」へのご依頼は、実施日の1ヶ半月位までに、ボランティア活動センターまで。

160号でお伝えした宝塚広域ボランティア連絡委員会主催の「第3回防災・減災情報交換会」が11月5日（土）午後、ぷらざこむ1にて開催されました。

市内9コミュニティ（まちづくり協議会）、及び17の自治会自主防災会から35名が集まり、日頃の防災・減災活動についての成果や悩みなどを具体的、かつ真剣に語り合う貴重な時間となりました。

参加された方々の地域での立場や地域の特性等抱える背景は様々で、想定する災害も河川の氾濫、土砂災害、地震と異なるものの、話が進めば共通のテーマは「命を守る安全な避難」。いつ、どこへ、どうやって避難すれば地域の誰もが命を守ることが出来るのか、その為に必要な「備え」は何なのか？ 皆さんが真剣に考えておられることが分かりました。

「訓練をするが、参加者が少ない」「要援護者を支援する人材がない」そんな苦悩も分かちあいました。

「命を守る」為に一番初めに必要なことは「自らの備え」です。住民一人ひとりの一言の声かけ、一つの備えの実行の積み重ねが「命を守る安全な避難」に繋がる「備え」になるのだという、参加者の皆さんの心からの叫びが聞こえるようでした。

みんなボランティア 162号（2017.1.1発行）

